

SEI E I D O

SDGs ACTION REPORT

2024



1. はじめに

弊社は、2021年から「SEI EIDO SDGs ACTION」の取り組みをスタートしました。このACTIONは『企業活動のあらゆる場面で**環境のため・製品のため・人のため**の貢献、さらにはお客様のSDGsの達成に寄与するために、精英堂印刷として果たすべきこと、継続すべきことを追求する。』ことと定義しています。

内容的には、2000年から続けてきた環境管理・環境保全への取り組みを中心に、働き方の多様化への対応、CSR・個人情報保護の運用、健康経営優良法人としての取り組み等、多岐に亘っています。

活動結果をご報告するため「SEI EIDO SDGs ACTION REPORT」を作成いたしました。ご高覧いただき、アドバイス等いただければ幸いです。

2. 2024年度を振り返って

(1) 環境に関するご提案 ～CO₂削減へ貢献～

【カーボンオフセットの採用】

製品を製造する過程で発生してしまうCO₂は努力してもゼロにすることは出来ません。ゼロに出来なかった分のCO₂は、別の場所で行われたCO₂排出削減事業で生じたクレジット（排出権）をお客様に購入いただき相殺することが出来ます。一般社団法人日本WPA（日本水なし印刷協会）のPGGという専用ソフトを使用しCO₂排出量を計算しクレジット購入の手続きをします。ご希望によりお客様の製品にカーボンオフセットのマークを付与することが可能です。この提案をスタートしてから、ようやく複数のお客様から採用いただくようになり、リピートでご注文を頂いております。気候変動によりCO₂排出量削減は重要な取り組みの1つであるため引き続き提案していきます。



【バイオマスインキの採用】

バイオマスインキは、石油由来のインキとは異なり、植物由来の原料を使用しています。植物は成長過程でCO₂を吸収し、バイオマスインキとなってパッケージに使用されることで、廃棄されても全体としてのCO₂排出量を抑制することができます。一般社団法人日本有機資源協会（JORA）が認定するバイオマスマークを付与することで、環境に配慮した製品であることを消費者にアピールすることができます。1色からのインキ変更でもマークを付与できるため、新規パッケージでの採用、また従来パッケージで使用しているインキからバイオマスインキに切り替えるお客様もいらっしゃいます。

バイオマスインキを使用することで右図のマークが付与できます。

※マーク内の数値、番号は使用インキ（油性・UV）によって異なります。



(2) 健康経営の取り組み

これまでも年2回の定期健康診断時を実施してきましたが、40歳以上の希望者を対象以下の項目を追加検査する機会を設けました。追加検査については自費となるものの多くの方が受診されました。今後ともこのような機会を設け健康経営に邁進したいと思います。

- ① P S A検査（前立腺マーカー検査）
- ② 腹部超音波検査
- ③ 眼底検査

(3) その他の取り組み

2024年4月1日より労働安全衛生法における化学物質規制が変わりました。内容としては化学物質のリスクアセスメントの実施、化学物質の危険性・有害性に関する情報伝達の強化等があり事業場における自律的な管理が求められることになりました。弊社では改正に伴い対象者への講習会の実施、リスクアセスメント等行いました。

3. 活動結果のご報告（2024年度結果）

	取り組み項目	目標設定値		結果
1	環境対応された印刷製品 (水なし印刷・3W インキ・バイオマスインキマークなど)	新規獲得製品の環境対応製品比率（水なし印刷含む）を65%以上にする		60.8%
2	カーボンオフセット	カーボンオフセット採用件数を13件以上にする		1件
3	バイオマスインキマーク	バイオマスインキマーク付与製品（初回付与）を13件以上にする		17件
4	グリーンプリンティング認定	GPマーク付与製品（初回付与）を45件以上にする		65件
5	有害物質の抑制	継続的なEHS管理の徹底		
6	廃棄物の削減・抑制	廃棄物のリサイクル比率99%以上を維持する	維持+5%までは誤差の範囲とする	99.90%
		インキ廃棄量を2023年度実績値を維持する		7.14%削減
		製函糊の廃棄量を2023年度実績値を維持する		100%削減
		紙くずを2023年度原単位実績値を維持する		1.05%増加 (維持達成)
7	電気使用量の削減	事務所等の電気使用量を2023年度実績値を維持する		3.47%増加 (維持達成)
		製造機械・設備等の電気使用量を2023年度実績値を維持する		1.98%増加 (維持達成)
8	紙使用量の徹底管理	事務用紙の使用量を2023年度原単位実績値で維持する（※）		7.25%削減
9	グリーン購入	グリーン購入比率を80%以上にする		94.92%

※ 2023年度原単位実績よりA4判換算で39,000枚減